

第4回 身近にある施設を知ろう ～施設の使い方の棚おろし～

はじめに

第4回は、若葉町内の施設の現状について考えます。参加者が町内の施設をどのように使っているかを共有することで、今後の使い方の見直し、施設再編を考える第一歩となります。参加者から今までの班以外のメンバーと話してみたいという意見もあり、今回と次回第5回は、第1～3回までとは異なる班を組み、新たなメンバーでワークを行います。ワークにあたっては、若葉町在住の方に公共施設の利用状況等についてお聞きした「※若葉町まちづくりに関するアンケート」も活用しながら進めます。

※市ホームページ：<https://www.city.tachikawa.lg.jp/gyoseikeiei/koukyousisetu/wakabaenquete.html>
（「若葉町まちづくりに関するアンケート」で検索していただくと検索結果に表示されます。）

＜鳥の目線と市民の目線＞ 東京都立大学 都市環境学部建築学科 助教 讃岐 亮 先生

地域の中で施設再編を考える時の大事なポイント「鳥の目線を持つこと、市民の目線を持つこと」

施設の再構築・再編成を考える時には、鳥になって空から若葉町を見下ろすように、地域を俯瞰的に見るのが大事です。もう一つ大事なことは、利用者・市民の目線で、まさに皆さんの視点です。実際の施設や場所でどのような活動があるのか、どのくらいの利用頻度なのか、どれだけコストが投じられているのかなど、つばさに見る必要があります。

今回のワークではまず、この市民目線で、市から提供された情報なども参考にしながら、公共施設や公共的な場、空間の利用実態などを確認し、使い方の棚おろし(現状把握)をしましょう。

ステップ1 若葉町の施設のことを何でも話そう

若葉町の～各施設の使い方・良いところ・見直したいところ～

グループワーク



ワ: 若葉会館・若葉図書館・東部連絡所

カ: 若葉児童館・若葉学童保育所

バ: 第九中学校・旧若葉小学校・若葉台小学校

チ: グリーンセンター(清掃工場内)

ヨ: 若葉公園・若葉緑地

ウ: その他

(ワ～ヨ以外に、参加者が使っている公共的な役割を持った施設・場所について)



ステップ2 施設の機能(役割)分けをしよう

立川市では公共施設が保有する機能を以下の8つに分類しています。公共施設の再編にあたっては、施設(ハード)をどう再編するかではなく、「機能を考える再編」を進めています。



～各施設の機能分け～

グループワーク

各班それぞれ、ステップ1で参加者全員が出した「施設の使い方」の黄色いふせんを、8つの機能別に分けて貼りました。現状、若葉町にどのような機能がどれくらいあるのかを洗い出します。



機能シート【若葉図書館・若葉会館・東部連絡所】							
学校教育	学 習	文 化	集会・交流	子育て	福 祉	運 動	行 政
学習会 若葉会館 生涯学習 公民館 PTA 英語サークル 子供達が夏休みに利用 夏の暑さを涼みながら本を読む 本の貸し出し 若葉図書館 SPACE 掛け蔵 書量増やす一つのジャンル充実	映画会 カラオケ等の活動 歌う会を利用音響施設 月2回カラオケ教室で利用しているすごくいい 各種サークル活動で利用	子どもが小さい時PTA 子ども会での会話 子供から老人まで使える 子どもが小さい時、障がい児の集会 各団体総会 若子連 WJLC の会議 自治連の会議を毎月使っています	子育てサークル 保育所の親での同士の話し合い よみきかせ	健康フェア 会館まつり 文化会行事 地域のケア会議	エクササイズ	証明書発行 税金支払い シルバーパス 発行手続き	議員の活動報告 気晴らし (図書館の特集コーナーをよくみる)

学校教育	学 習	文 化	集会・交流	子育て	福 祉	運 動	行 政	その他
	◇学習会 ◇若葉会館 生涯学習(体操、コーラス、講座)、 ピアノ使用、スクリーン利用 ◇英語サークル ◇子供達が夏休みに利用 ◇夏の暑さを涼みながら本を読む ◇本の貸し出し ◇若葉図書館 SPACE 拡げ蔵書量増やす一つのジャンル充実	◇映画会 ◇カラオケ等の活動 ◇歌う会を利用音響施設 ◇月2回カラオケ教室で利用しているすごくいい ◇各種サークル活動で利用	◇子どもが小さい時 PTA ◇子ども会での会話 ◇子供から老人まで使える ◇子どもが小さい時、障がい児の集会 ◇各団体総会 ◇若子連 WJLC の会議 ◇自治連の会議を毎月使っています	◇子育てサークル ◇保育所の親での同士の話し合い ◇よみきかせ	◇健康フェア ◇会館まつり ◇文化会行事 ◇地域のケア会議	◇エクササイズ	◇証明書発行 ◇税金支払い ◇シルバーパス 発行手続き	◇議員の活動報告 ◇気晴らし (図書館の特集コーナーをよめる)

成果発表

班ごとに、施設の機能分けの結果について、全体に向けて発表しました。

施設の存在やその使われ方など、「初めて知った」という声もあり、地域の資産の情報共有ができたのは有意義でした。また、ウ班では公共施設以外の施設や場所についてワークを行いました。その機能は「集会・交流」が多く、交流を深めたり、にぎわいを創出する場は公共施設以外にもたくさんあることが分かりました。



まとめ

東京都立大学 都市環境学部建築学科 助教 讃岐 亮 先生

前回までとは異なるメンバーでの班構成、かつ席の移動もありましたが、むしろそれを生かして皆さんが活発に議論していただけたことが良かったと思います。

本日の大きな成果は、市民目線で施設の使い方の情報共有ができたことです。多くの方が知らなかったという使い方の発見もありました。次回もその「機能に着目する目線」を持って議論に参加していただけたらと思います。

～ちょこっと ひとことコーナー～

ワークショップの最後に、参加者同士の情報共有を目的として、地域での活動や地域との関わり方などについて、4名の希望者の方にひとことお話をいただきました。次回以降も数名ずつお話していただく予定です。

第5回ワークショップは
令和4年2月20日（日）開催予定です
テーマ：まちに必要な機能ってなんだろう
～機能の視点で考える～



参加者のみなさんからいただいた意見は、下記の方法で公開する予定です。
市では積極的な情報発信に努めてまいります。今後も、公共施設に関する情報を提供していきますので、ぜひご利用ください。

■立川市 公共施設再編関連の情報（市ホームページ）

<http://www.city.tachikawa.lg.jp/shise/sesaku/kakushukekaku/kokyosisetsu/index.html>

（「若葉町まちづくりワークショップ」で検索していただくと検索結果に表示されます。）



発行：立川市総合政策部 行政経営課

住所：〒190-8666 東京都立川市泉町1156-9

電話番号：042-523-2111 FAX：042-521-2653

若葉町まちづくりワークショップ ニュースレター vol. 4

第4回若葉町まちづくりワークショップを開催しました！

立川市では現在、公共施設再編個別計画に基づき、公共施設の再編を進めています。若葉町においては、小学校の統合や清掃工場の移転などにより、まち全体が大きく変わろうとしています。市民のみなさんと若葉町の将来について考えるため、ワークショップ（全8回予定）を開催しています。

前回に続き、旧若葉小学校の体育館で開催しました。

【全8回プログラム】

- ① 第1回 若葉町 まちの今を知ろう
- ② 第2回 わがまち若葉町を語ろう
- ③ 第3回 将来をイメージしよう
- ★ 第4回 身近にある施設を知ろう
- 第5回 まちに必要な機能ってなんだろう
- 第6回 まちの機能再編にチャレンジ！
- 第7回 ポスターを作ろう！
- 第8回 ポスターセッション



第4回 若葉町まちづくりワークショップ 開催概要

日時：令和3年12月11日（土）13:30～16:00

場所：旧若葉小学校 体育館

参加人数：26名

テーマ 「身近にある施設を知ろう ～施設の使い方の棚おろし～」

- はじまり
- ステップ1 若葉町の施設のことを何でも話そう
- ステップ2 施設の機能（役割）分けをしよう
- 成果発表
- まとめ

